

ドライブレコーダー KH-DR70



取扱説明書 保証書添付



Ver1.03

この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

- 本機の性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使い頂くために、ご使用前にお読みください。
お読みになった後は、保証書付ですので大切に保管し必要に応じてご利用ください。
- 保証書に、「お買い上げ日、販売店名」などの記入があるかを必ずお確かめください。
- 写真及びイラストは、実際の製品と異なる場合がございます。
- 本製品のデザイン、仕様は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

目次

・はじめにP1
・安全上のご注意P2
・本製品についてP5
1. 本体各部名称・機能 本体の各部名称・機能P6
2. 本体の準備及び接続 各種準備、接続についてまとめてあります。P8
3. 使用方法 (録画/カメラ/再生)P12
4. 各種メニュー設定項目についてP13
5. 注意すべき内容P15
6. 主な仕様P18
7. 故障かな?と思ったらP19
・保証書巻末

はじめに

この度は当社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。本製品を安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくご使用ください。
本取扱説明書の最終ページに製品保証書が付いております。本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。

セット内容

以下が揃っているかを確認してください。不足品がありましたら弊社までお問い合わせください。
また、改良のため予告無く製品内容が変更されることもありますので予めご了承ください。
※レンズ部には保護フィルムが装着されているので、赤いタグを持ちはがしてください。

- 本体 ×1
- microSDカード ×1
- 車載用シガー電源アダプター(約3m) ×1
- 取扱説明書 ×1
- リアカメラ(約7m) ×1
- 取付ステー ×1



本体
(機種名称シール付属)



シガー電源アダプター



リアカメラ



取付ステー



microSDカード



取扱説明書

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。下記の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の意味

表示	表示の意味
危険	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が高いことを示します。
警告	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
注意	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が傷害(*2)を負う、又は物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

■図記号の意味

図記号	図記号の意味
	⊘ は、禁止(やってはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	● は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	△ は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

*1 : 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、骨折、中毒、感電などの後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 : 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3 : 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。



使用するとき

- 運転中は本製品を操作したり、本製品の液晶画面は見ないでください。



事故の原因となります。運転中は液晶画面をオフにしてください。本製品を操作する場合は、安全な場所に停車してから行ってください。

- 運転操作に支障がない場所に本製品の取付や電源コードの設置を行なってください。



設置場所は運転の視界のさまたげにならないか確認してください。電源コードがハンドル等に絡まないよう、配線の取り回しを行なってください。

- シガー電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してから抜くこと



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店またはサポートセンターにご相談ください。

- 高温になる場所で長時間放置及び使用しない



直射日光の当たる場所・閉め切った車内、ストーブのそばなどに放置しないでください。火災・感電の原因および破損、部品の劣化となることがあります。ご使用後は取り外し日陰などのところで保管してください。

使用するとき

- 修理・分解・改造しないこと  火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはサービスセンターにご依頼ください。
分解禁止
- 内部に異物を入れないこと  針やクリップなどの金属類、紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災や感電の原因となります。
異物挿入禁止
- 水に濡らしたりしないこと  火災・感電の原因になります。飲み物をこぼしたりしないでください。
水ぬれ禁止
- 液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込んだり飲んだりしないこと  中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は、水で洗い医師の診察を受けてください。
禁止

警告

設置するとき

- フロントガラスの上部20%、ドライバーから見てルームミラーの影になる位置が目安です  フロントガラスの汚れを落とし、ブラケットの吸盤を押し当てながら固定レバー押ししてしっかり固定させます。しっかり固定させないと本機が落下して、けがをしたり、故障の原因となります。
禁止

※フロントガラスへの取付は、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されます。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラスの上部より20%以内のところに取付してください。その際ミラーと干渉しない場所及び、ワイパーのふき取り範囲内に取付してください。

※地デジやETCのアンテナ近くには、取付しないでください。

※GPS機能を持つ製品や、VICS受信機の近くには取付しないでください。誤作動を起こす可能性があります。

※衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや、防眩ミラーのセンサーなどがルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付してください。

警告

シガーアダプターについて

- シガーアダプターを 分解、改造、修理しないこと  火災・感電の原因となります。
分解禁止
- シガーアダプターは付属のものを 使用すること  指定以外のシガーアダプターを使用すると、火災・故障の原因となります。
禁止
- アダプターのコードは傷付けたり、加工したり、加熱したりしないこと
・引張ったり、重いものをのせたりはさんだりしないこと
・無理に曲げたりねじったり束ねたりしないこと  火災・感電の原因となります。
指示
- シガーアダプターはDC12V～24V 対応です。電源変換器は使用しないこと  電圧変換器(DC-DCコンバータ)を使用すると故障の原因になることがありますのでご使用にはならないでください。
禁止
- シガーソケット内の汚れを取り除く  シガーソケット内に汚れが付着している場合は、製品動作が不安定になる場合があります。
指示
- ぬれた手でアダプターを抜き差ししないこと  感電の原因となります。
指示
- シガーアダプターをシガーソケットから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと  コードを引っ張って抜くと、コードやアダプターが傷つき、火災・感電の原因となります。アダプター本体を持って真っ直ぐ抜いてください。
指示

本製品について

- ドライブレコーダーは事故を防止する装置ではありません。
- すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機の録画映像は事故等の証拠として効力を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用によって生じた損害、記録された映像やデータの消失・損傷・破損による損害については弊社は一切その責任を負いません。
- 本機で録画・撮影した映像は使用方法によっては非撮影者の肖像権・著作権・プライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが弊社は一切の責任を負いません。
- LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の認識ができない場合があります、そのような場合は前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切の責任を負いません。
- 運転者は走行中液晶画面等注視したり、機能操作はしないでください。走行中は画面をオフにしてください。本機を操作する場合は安全な場所に停車させてから行なってください。
- microSDカードは消耗品です、定期的に新しい物と交換してください。microSDカードの性質上、書き込み回数など製品寿命があります。新しいmicroSDカードをご使用になる時は、フォーマットを行ってからご使用ください。本製品に同梱されているカードはフォーマットをしてあるので、そのままご使用できます。
- 静電気や電気ノイズ、水に濡らしたりした場合、長期間使用しなかった場合など録画・撮影されたデータが破損する恐れがあります。
- すべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。

《内蔵リチウムイオン充電式バッテリーについて》

- 炎天下や火のそばなどの60℃以上になる高温の場所では使用したり放置したりしないでください。リチウムイオンバッテリー内部で異常な化学反応が起こり液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。
- 鋭利なもので刺したり、叩いたりしないでください。リチウムイオンバッテリーが破裂や変形したりガス漏れなどにより、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。
 - ※炎天下の車内や直射日光の強いところなど、高温になる場所に放置しないでください。ご使用後は取外して、日陰などの場所で保管してください。

1: 本体各部名称・機能

本体各部の名称



- ①. 電源ランプ
- ②. 液晶画面
- ③. 「OK」(決定)ボタン
- ④. 「▼」選択ボタン
*: 前後カメラ切替機能を含む
- ⑤. 「▲」選択ボタン
- ⑥. 「●」(駐車監視機能)ボタン
- ⑦. 「△」(モード切替)ボタン
*: ファイルロック機能を含む
- ⑧. リセットボタン
- ⑨. カメラレンズ
- ⑩. LEDライト
*: 電源ボタンにて点灯

- ⑪. 取付ステー装着部
- ⑫. 電源ボタン
*: LED点灯機能を含む
電源ON/OFFは長押し
- ⑬. microSDカード挿入口
- ⑭. 「M」(メニュー)ボタン
- ⑮. miniUSB(電源)ポート
- ⑯. リアカメラ専用ポート
- ⑰. マイク

※画像が実物と異なる場合があります。

No.	名称	表示	機能
①	電源/動作ランプ	—	電源オン時:緑/点灯 電源オフ時:消灯 LED点灯機能(オン/オフ)
②	液晶画面	—	2.3インチTFT液晶表示部
③	決定ボタン	Ok	メニュー選択決定ボタン/録画時の停止ボタン カメラの撮影ボタン/動画再生ボタン
④⑤	選択	▼ ▲	メニュー項目を選択するボタン機能です。 【動画・静止画撮影モード時】▲:前後カメラ切替 【再生モード時】▼▲:再生ファイル選択
⑥	駐車監視ボタン	●	駐車監視機能モードを設定できます。
⑦	モード切替ボタン	⚠	ボタンを押すと各モードを切替できます。 「動画」→「静止画」→「再生」
⑧	リセット	R	画面が再起動しないなど、リセットボタンを ピンで押して再起動させる事ができます。
⑨	カメラ	—	撮影用のカメラレンズ部
⑩	LEDライト	—	電源ボタンでオン/オフすることが可能です。 夜間の撮影時などに使用します。
⑪	ステー装着部	—	付属の取付ステーを本体に装着します。
⑫	電源ボタン	⏻	長押しで電源のオン/オフを行ないます 電源投入時はLEDライトのオン/オフ機能
⑬	microSDカード 挿入口	TF	付属のmicroSDカードを挿入します
⑭	メニューボタン	M	各種機能モードの設定メニューを表示します。
⑮	電源ポート	⚡	シガー電源のminiUSB端子などを接続します
⑯	リアカメラポート	—	付属のリアカメラ専用ミニジャックです。
⑰	マイク	MIC	音声録音時のマイクになります

2: 本体の準備および接続

microSDカードの装着

本製品には、microSDカードが1枚付属されています。

動画や静止画を撮影するためのものです、各機能の設定後電源がオフの状態
で本製品にmicroSDカードを装着してからご使用ください。

また、市販のmicroSDカードをご使用するときは8GB～32GB(Class10以上)の
ものをご用意ください。

※付属のmicroSDカードは、フォーマットされていますのでそのままご使用できますが、
※市販のmicroSDカードを使用する時は、フォーマット作業を行ってから使用してください。

**microSDカードの向きに注意してカチッという音がするまでツメで
押し込んで装着ください。**

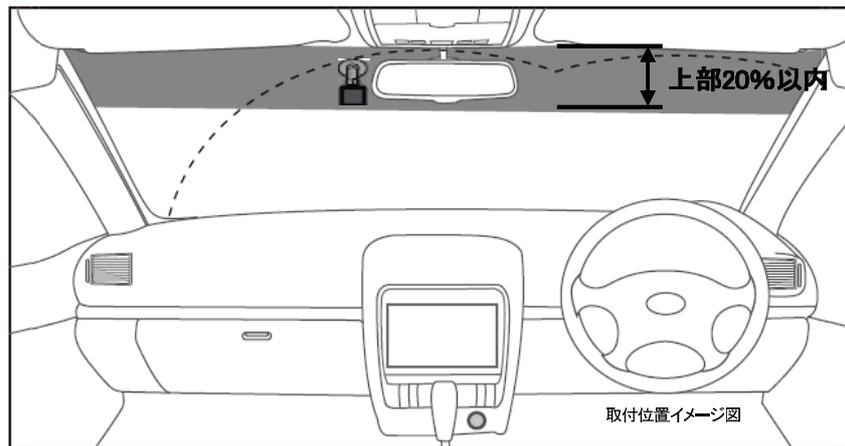


**取り外す際は、ツメでカードをカチッと音がするまで押し込み指をはなします。
カードが少し出てきますので、まっすぐ引き抜きます。**

取付位置について

車両のフロントガラスに、同梱の取付ステーを使用して取付してください。フロントガラスへの取付は、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されます。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラスの上部より20%以内のところに取付してください。その際ミラーと干渉しない場所及び、ワイパーのふき取り範囲内に取付してください。

※地デジやETCのアンテナ近くには、取付しないでください。
※GPS機能を持つ製品や、VICS受信機の近くには取付しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
※衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや、防眩ミラーのセンサーなどがルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付してください。



取付方法

本体に取付ステーを装着します。

①本体カメラ側上部と取付ステー下部の溝を合わせスライドさせて取付してください。



②フロントガラスの取り付け面のホコリや油分などをきれいに拭き取り、ブラケット吸着面の台紙をはがして、取り付け面に強く押し当ててください。

③ヒンジでカメラの角度を調整して、固定ナットを締めて固定します。

※固定後、落下しないようしっかり取付されているか確認をしてください。



ヒンジ固定ナット

電源接続方法

シガー電源アダプターを本体に接続します。

①本体側面にあるminiUSBポートに、付属のシガー電源アダプターを接続します。

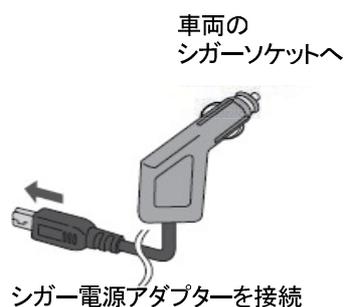
②運転操作に支障をきたさないよう、電源コードの取り回しには注意して行ってください。

③車両側のシガーソケットへの接続が終わったら、エンジンをかけ通電を確認してください。自動的に本体の電源がオンになり、画面が表示され自動的に録画を開始します。

④エンジンをストップして、シガーソケットからの電源が遮断されると、本体の電源は自動的にオフになります。

※一部車種では、エンジンをストップしてもシガーソケットに通電したままの車種もあります。その場合は、シガーソケットからシガー電源アダプターを抜いてください

※手動で本体電源のオン/オフを行なう場合は、側面の電源ボタン  を押してください。



■リアカメラ接続方法

リアカメラを本体に接続します。

- ①本体側面にあるミニプラグポートに、付属のリアカメラを接続します。
- ②運転操作に支障をきたさないよう、カメラコードの取り回しは注意して行ってください。
- ③リアカメラの接続が終わったら、エンジンをかけ通電を確認してください。
自動的に本体の電源がオンになり、画面が表示され自動的に録画を開始されますが、本体側面の「モード」ボタンを押下すると、リアカメラに切り替えることができます。



リアカメラ専用ミニプラグポート

- 同梱のリアカメラは本ドライブレコーダー専用です。他の機器に接続しないでください。故障の原因になります。
- 本製品は車内取付け専用です。車外には取付けないでください。
- ルームランプ等を点灯し車内を明るくすると外の画像が見にくくなる場合があります。その際は、ルームランプ等を消して室内を暗くしてください。
- 本製品は、後方撮影専用のリアカメラです。バックギヤ連動機能や駐車アシスト線の表示機能はありません。
- 走行中でも、本体の「モード切替え」ボタンにて後方確認できますが、走行中は直視しないでください。事故の原因になります。
- 本製品は後方撮影用のカメラであり、ドライバーの後方視界を補助し、すべての障害物、危険物をカメラで映し出せるものではありません。また広角レンズを使用しており、実際の距離と遠近感が異なります。バックする際は、必ず目視で後方を確認してください。

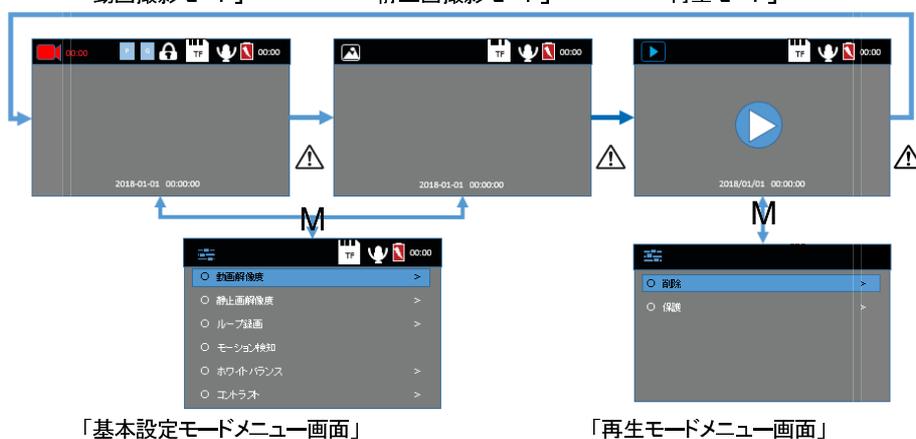
3: 使用方法

ご使用前に、録画/カメラ/再生の各モードの設定をおこなってください。

■ドライブレコーダー使用時の各機能切り替え設定について

本機の起動後に「△」ボタンを押下で、下記のモードに切り替わります。

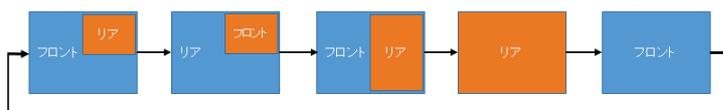
「動画撮影モード」 → 「静止画撮影モード」 → 「再生モード」



動画・静止画モード状態の時「メニュー」ボタン押下で「基本設定モードメニュー画面」に移行できます。再生モード状態の時はファイル削除機能な「再生モードメニュー画面」に移行できます。

■フロントカメラとリアカメラの切替について

各撮影モード時に「▼」ボタンをクックすることで、カメラの表示を切替ることができます。



■ドライブレコーダーの各種機能設定について

ご使用になるモードに切り替えが動作することを確認した後に、本体の「メニュー」ボタンを押下すると、セットアップ画面を表示することができます。

各機能設定メニューは「左/右」ボタンで移動でき、「OK」ボタン押下で設定項目の選択をすることができます。

「各種設定モードメニュー画面」から戻る時は、「メニュー」ボタンを押下すると、その時にお使いの機能(動画/静止画/再生)モードに戻ります。

4: 各種メニュー設定項目について

メニュー項目	メニュー選択項目	初期値	項目説明
動画解像度	1080P	*	動画レコーディング時の解像度を選択できます。
	720P		
静止画解像度	1M	*	静止画撮影時の解像度を選択できます。
	2M		
	5M		
	8M		
ループ録画	2分	*	ループ録画時間の設定をすることができます。
	3分		
	5分		
モーション検知	<input type="checkbox"/>	*	モーション検知のオフ/オンを設定できます。 * : 設定後に画面に変化がある場合に、約10秒間の録画を開始し、終了すると自動的にモーション検知モードに戻ります。ただし、メニュー設定画面を表示すると「モーション検知モード」は自動的にオフになります。
	<input checked="" type="checkbox"/>		
ホワイトバランス	自動	*	撮影時のホワイトバランスを選択することができます。
	晴天		
	曇り		
	白熱灯 蛍光灯		
コントラスト	高	*	撮影時のコントラストを強弱を変更することができます。
	中		
	低		
露出	-3	*	撮影時の露出を設定することができます。
	-2		
	-1		
	0		
	1		
	2 3		
起動時録画	<input checked="" type="checkbox"/>	*	起動時録画モードを設定することができます。初期値はオンでエンジン始動に連動して録画を自動的に開始します。オフ時は、手動での録画開始が必要になります。
	<input type="checkbox"/>		
液晶保護	オフ	*	液晶保護機能時間を設定することができます。 * : 液晶保護機能が動作して、液晶画面が消灯しても録画機能は有効です。
	3分		
	5分		

メニュー項目	メニュー選択項目	初期値	項目説明
オートパワーオフ	オフ	*	使用していない時に自動的に電源を切る設定をすることができます。
	1分		
	3分		
音声記録	<input checked="" type="checkbox"/>		音声記録モードを選択することができます。初期値はオフで、音声記録はされません。
	<input type="checkbox"/>	*	
駐車監視	<input type="checkbox"/>	*	<p>駐車監視機能のオン/オフを設定することができます。</p> <p>*：本機能を有効にするには、あらかじめ「モーション検知」機能を有効にしておく必要があります。</p> <p>*：駐車監視時の録画時間は「モーション検知」機能に依存し、約10秒間のみとなります。またメニュー設定を表示するまでは、「モーション検知」機能は有効なために、「駐車監視」機能は動作しています。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/>		
Gセンサー	オフ		<p>Gセンサーの感度を設定することができます。</p> <p>*：Gセンサーに反応して録画されたファイルはロックされます。</p> <p>*：Gセンサー反応時の録画時間はループ録画設定に準じます。</p> <p>*：ロックされたファイルは本機の機能では削除できません。microSDカードをフォーマットして全てのファイルを削除するか、microSDカードを取り出してパソコンでロックされたファイル名を指定して削除してください。</p>
	低		
	中	*	
	高		
日付設定	年		<p>日付設定をすることができます。</p> <p>*：設定方法は「左/右」ボタンで数値を選択してから「OK」ボタンで決定します。全ての数値を設定し「OK」ボタンを押下すると、元のメニュー画面一覧に戻ります。</p>
	月		
	日		
	時		
	分 秒		
言語選択	English		メニューを表示する言語選択をすることができます。
	繁体中文		
	簡体中文		
	日本語	*	
タイムスタンプ	<input checked="" type="checkbox"/>	*	録画ファイルに日付を記録する機能です。タイムスタンプを無効にすると録画データに時間が記録されません。
	<input type="checkbox"/>		
フォーマット	/		microSDカードをフォーマットする機能です。
工場出荷値	/		本製品を工場出荷値に戻す機能です。
FWバージョン	/		本製品のFWバージョンを確認することができます。

5: 注意すべき内容

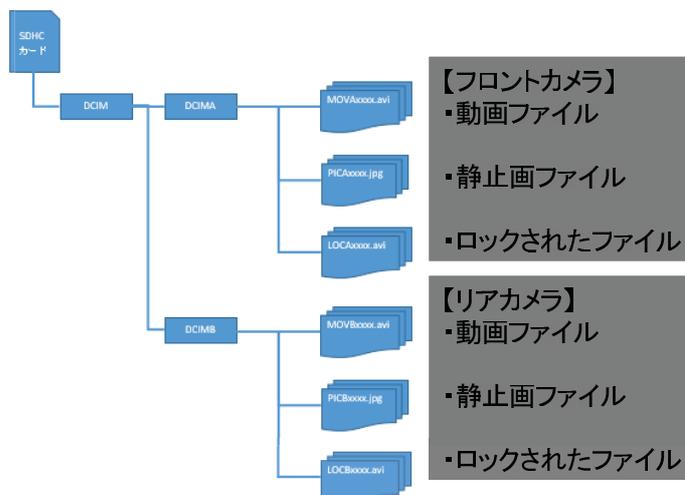
- ①Gセンサーは、車体が衝撃を受けた時に、自動的に録画中のファイルを保護する機能です。Gセンサーの感度は高/中/低/オフから選択できます。Gセンサーの感度設定は衝撃の目安です。状況により動作を保証するものではありませんのでご了承ください。
- ②microSDカードに保存されたデータは基本設定モードのメニューで「フォーマット」をおこなうと、保護されているファイルも全て消去されますので注意してください。
- ③周波数を変更しても、LED式信号機を録画/撮影した場合。信号が点滅・消灯して映ることがあります。これはLED信号の同調によるもので故障ではありません。
- ④内蔵バッテリーでの動作時間は目安は「本体+リアカメラ」のフル充電状態で約3分です。これは仕様ですので、あらかじめご了承ください。
参考:リアカメラを接続していない本体のみでの使用の場合は、消費電力が低減できるために約15分と長くなります。
- ⑤内蔵バッテリーは、本機にDCシガーアダプターを経由して電力が通電接続が成立した時点で自動的に充電されます。
- ⑥リセットスイッチは、本製品が動作しなくなったり誤作動を起こした際は本体のリセットスイッチを先の細いもので押して、本体のシステムを再起動してください。リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。
- ⑦万一のデータ消失に備え、必要なデータはPCに保存することをお勧めします。
- ⑧本体の汚れ等は、軟らかい布で乾拭きしてください。水や洗剤、液体は使用しないでください。液晶画面は強く押しついたりしないでください、破損の原因となります。
- ⑨カメラ撮影時の撮影可能枚数は、画面サイズを変えても9999枚が管理上の上限ですが、実際はmicroSDカードの容量により少なくなる場合があります。

⑩動画/静止画の撮影可能時間/枚数は、以下の仕様になります。

モード	カメラ	解像度	初期値	ループ録画時間	初期値	単位KB	作成可ファイル数	最大撮影時間
動画	フロント	1080p	*	2分	*	409,600	7	14分
		720p	*			327,680	8	16分
		1080p	*	3分		614,400	3	9分
		720p	*			491,520	3	11分
		1080p	*	5分		1,048,576	1	5分
		720p	*			819,200	1	5分
モード	カメラ	解像度	初期値	ループ録画時間	初期値	単位KB	作成可ファイル数	最大撮影時間
動画	リア	1080p	*	2分	*	153,600	7	14分
		720p	*			153,600	8	16分
		1080p	*	3分		230,400	3	9分
		720p	*			230,400	3	11分
		1080p	*	5分		324,000	1	5分
		720p	*			324,000	1	5分
モード	カメラ	解像度	初期値	1ファイル単位KB	最大撮影枚数(8G)			
静止画	フロント	8M	*	4,097	1,953			
		5M	*	3,073	2,603			
		2M	*	1,039	3,904			
		1M	*	1,026	7,805			
モード	カメラ	解像度	初期値	1ファイル単位KB	最大撮影枚数(8G)			
静止画	リア	8M	*	30	1,953			
		5M	*	30	2,603			
		2M	*	30	3,904			
		1M	*	30	7,805			

⑪録画の場合はファイルがいっぱいになると、上書きを行います。必要なデータはPCなどへ保存してください。

⑫microSDカード内の構造とファイルの種類について



⑬Gセンサー検知時にロックされたファイルがいっぱいの場合、microSDカードに書き込みができません。

⑭ロックされたファイルは本機では消去することはできません、個別にロックファイルを削除したい場合はPC等で削除をしてください。

⑮ご購入時には、本機の内蔵バッテリー容量が低下している場合があります。ご使用前に必ず、基本設定モードメニュー画面で「日付設定」をしていただきますよう、お願い申し上げます。

⑯本製品を車輻に取り付け後、十分な充電容量が確保されていない場合や長時間車輻を使用しなかった場合には、本機の内蔵バッテリーが内蔵時計の時間機能を保持できなくなる場合がありますので、基本設定モードメニュー画面で「日付設定」をしていただきますよう、お願い申し上げます。

⑰microSDカードは「読み出し・書き込み」を繰り返し頻繁におこなう必要があるドライブレコーダーとの組み合わせにおいて、microSDカード自体の半導体チップ内に不整合情報が蓄積されていくことがあります。そのような状態のSDカードを使い続けた場合、microSDカード自体の画像の記録保持機能だけでなく、ドライブレコーダー本体に対しても誤動作をとまなう障害を誘発してしまうことがあります。そのような場合は定期的にmicroSDカードをフォーマットしたり、別途市販のmicroSDカードに差し替えていただくことをおすすめいたします。

⑱本製品に同梱されているmicroSDカード以外に、市販のmicroSDカードをご使用になる場合には、クラス、容量の仕様の制約の他に、本機と親和性のない製品も存在します。すべての市販品との製品親和性組み合わせについては、追従できない場合もありますので、あらかじめご理解の上でご使用いただきますようお願い申し上げます。

⑲本機の内蔵バッテリーは時刻保持機能と兼用しておりますが、容量が小さいため、定期的にご乗車して頂き、バッテリーを充電して頂かないと内蔵時計の機能が停止してしまう場合があります。

6: 主な仕様

製品名称	ドライブレコーダー KH-DR70
JANコード	JAN4573197763110
電源電圧	入力:DC12V~24V(DC5V/1000mA)
消費電力	2.7W
動作温度範囲	-10°C~60°C
モニター	2.3型 液晶パネル(320x240)
フロントカメラセンサー	100万画素
フロントカメラレンズ画角	対角:125° 水平:91° 垂直:53°
リアビューカメラセンサー	30万画素
リアビューカメラレンズ画角	対角:96° 水平:80° 垂直:45°
ズーム倍率	なし
Gセンサー	オフ/低/中/高
記録媒体	microSDHCカード(クラス10以上推奨/容量8~32GB)
記録方式	通常/手動
記録形式	動画:AVI、静止画:JPG
フレームレート	25fps
ループ録画機能	2分/3分/5分
動体検知機能	オン/オフ
音声録音	オン/オフ
駐車監視	オン(Gセンサー検知)/オフ
操作音	固定
スピーカー	1W/8Ω
USB端子	miniUSB
内蔵バッテリー	リチウム電池150mAh(内蔵バッテリー使用時の動作可能時間目安:約3分)
外形寸法	本体:72x63x32mm
重量	本体:80g
付属品	専用ステー、DCシガーアダプター、microSDカード(8GB) リアカメラ、取扱説明書

※仕様(同梱物を含む)およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

7: 故障かなと思ったら

状態	考えられる原因
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・DCシガー電源アダプターが正しく装着されているか確認してください。 ・シガーソケット内が汚れていたりすると、正しく給電されない場合があります。清掃を行なってください。 ・内蔵バッテリーのみで動作させている場合、バッテリーが放電している可能性があります。電源を接続して使用してください。
撮影ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影可能枚数の解像度別の上限に達していないか確認してください。
カードエラーと表示する	<ul style="list-style-type: none"> ・microSDカードが正しく挿入されているか確認してください。 ・microSDカード内の記録映像等PCへ保存してから、フォーマットしてください。
カードがありませんと表示する	<ul style="list-style-type: none"> ・本機にmicroSDカードを挿入してください。
フォーマットカードが必要です	<ul style="list-style-type: none"> ・microSDカードをフォーマットしてください。
ファイルがいっぱいです	<ul style="list-style-type: none"> ・microSDカード内のデータをPCへ保存して消去してから、再度本体に挿入してください。 ・Gセンサーにて検出された動画データはファイルがロックされます。ロックされたファイルは上書きされません。また本機からロックされたファイルは消去することはできないので、全ファイルをフォーマットするか、もしくはPCでロックされたファイルを削除してください。
動作しなかったり、誤作動を起こす	<ul style="list-style-type: none"> ・本体上部のリセットボタンを、先の細いもので押し本体を再起動させてください。

状態	考えられる原因
<p>既設の車載テレビの地デジ番組がワンセグしか視聴できなくなった。または視聴できなくなった。</p>	<p>電化製品は動作時に、その回路基盤からノイズを放出したり、他の機器からのノイズを受けることがあります。その影響は環境によりまちまちで、問題が発生する場合もあれば、全く影響を受けないこともあります。</p> <p>影響のある場合には以下の対応を試してみてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの機器を極力離して使用してみる。 ・アンテナの取り付け位置を変える。 ・市販の電磁波防止用のシートで、ノイズの発生源を遮断する。 ・ケーブル類にはノイズの伝送を低減することができる、フェライトコアなどを装着する。